

掲載海外安全対策情報

(定期報告:平成27年度第4四半期)

在エチオピア日本国大使館

1. 社会・治安情勢

当局は、テロを企てたとしてアル・シャバーブ分子を逮捕するなど、テロ対策の強化を継続している。テロの標的となりやすい市内の高級ホテルやレストラン、政府機関等も警戒レベルを上げている状況にある。

2. 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

当地においては、日本人を含む外国人を狙った強盗や窃盗事件が発生している。主な手口は次のとおり。

(1)強盗事件

邦人被害を含め、アディスアベバ市内において、強盗事件が発生している。早朝及び夜間に徒歩で移動している際に、背後から首をしめられ、抵抗できない状態に陥らせ、携帯電話や財布を強取する手口が認められる。

(2)窃盗事件

邦人被害を含め、アディスアベバ市内において、少年らによるスリが多数発生している。複数の少年が歩行者に近づき、雑誌を売る素振りや、服に唾をかける等して一人が気を引いている間に、他の少年が歩行者のポケットから携帯電話機や財布を窃取する手口が認められる。

(3)ぼったくり事件

邦人被害を含め、アディスアベバ市内において、ぼったくり被害が発生している。旅行者が、滞在ホテル周辺を徒歩で移動していると、エチオピア人が話しかけてきて、「自分はこのホテルの関係者だが、いい飲食店を教えようか。」と近づき、「ホテルの関係者」と言われて安心してしまい、勧められた飲食店に入り、注文すると、高額を請求される手口が認められる。

3. 殺人・強盗等凶悪犯罪の事例

(1)殺人

邦人被害の届け出はない。

(2)強盗等

2016年2月12日、ボレ地区において、邦人1名が、夜中に徒歩で自宅に帰宅途中のところ、突然、背後から1名の男が上腕を被害者の首に回して絞め上げ、付近に駐車されていた車両の物陰に引きずり込み、抵抗できない状況にした上で、もう1名の男が、現金、財布、携帯電話等在中の上着をはぎ取り、強取するという事案が発生した。

4. テロ・爆弾事件発生状況

テロ・爆弾事件は発生していない。

5. 誘拐・脅迫事件発生状況

邦人被害の届出はない。

6. 自然災害発生の事例

国内において大きな災害は発生していない。

7. 対日感情

対日感情については、問題ない。

8. 日本企業の安全に係わる諸問題

特になし。